

【レジメン名】 FOLFIRI+ラムシルマブ療法

【病名】 治癒切除不能・進行再発の大腸癌（2次治療以降）

【投与量】

Day 1 に投与

ラムシルマブ	8 mg/kg : 60 分かけて※ ¹⁾
イリノテカン	150 mg/m ² : 90 分かけて※ ²⁾
レボホリナートカルシウム	200 mg/m ² : 120 分かけて※ ²⁾
フルオロウラシル(急速静注)	400 mg/m ² : 全開投与(10 分ぐらいかけて)
フルオロウラシル(持続静注)	2400 mg/m ² : 46 時間持続投与

1 クールを 14 日間とする

※¹⁾ 忍容性を確認後に短縮可

※²⁾ 同時に投与

	Day 1	Day 2	………	Day 15
ラムシルマブ	↓			↓
イリノテカン	↓			↓
レボホリナートカルシウム	↓			↓
フルオロウラシル(急速静注)	↓			↓
フルオロウラシル(持続静注)	→	→		→

★備考

- ・ラムシルマブ投与時に発現する **infusion reaction** を軽減させる為、投与前に抗ヒスタミン剤（ジフェンヒドラミン）の投与を施行
- ・ラムシルマブによる高血圧が発現することがある為、投与開始前及び投与期間中は定期的に血圧の測定を実施
- ・ラムシルマブによるネフローゼ症候群、蛋白尿が発現することがある為、投与期間中は定期的に尿蛋白の検査を実施
- ・中等度催吐性リスク